

# フランスの

## 小さくて温かな暮らし



# 365日



大切なことに気づかせてくれる

日々のヒント

1日1ページ、フランスの普段着の暮らしを垣間見られる日めくりカレンダーのようなエッセイ。パンやスイーツ、カフェやレストランの話から、フランス人のエスプリがのぞくことわざ、生活習慣、哲学まで。遠く離れた日本に住む私たちにも、日々を心地よく丁寧に過ごすためのヒントがたくさん見つかります。

フランスの  
小さくて  
温かな暮らし  
365日

大切なことに気づかせてくれる  
日々のヒント

トリコロール・パリ  
荻野雅代 桜井道子

JYUKOKUMINSYA

何気ない日常がもっと愛おしくなる！

いつか行ける日を思い浮かべながら  
ページをめくるのが楽しい！

POPとパネルのデザインが新しくなりました！

5 | avril

朝食は甘いもの

日本が大好きなフランス人のカップルが、念願叶って日行き、大満足で帰ってきたのですが、彼らが唯一「どうして？」と告白してくれたのが、旅館の朝食でした。朝食はと、朝から塩辛いお味噌汁を食べるのほども受け付け多すぎたというのです。この反応、実は珍らしいことではお隣の国イギリスに、ポルティムンというところで、朝食の伝統があるのと対照的に、フランスの朝ごはんは甘いのが普通で、しかも、たいいていあまりたくさん食かしたら、ランチとディナーの食事をしっかり楽しめたいという意識があるのかもしれないと、朝食に浸して食べるのが、最も典型的なフランスの朝食。朝食は贅沢品なので、週末の朝限定という家庭の

13 | avril

フランスの暮らしは永遠の定番

『パン』と呼ばれる、フランス人にとって日々の生活に欠かせない日用品のひとつ。奥にあるドラゴナー（日曜閉店）の軒先にはさまざまな大きさのパンがぶら下がっていて、眺めているだけでも楽しいものです。

『マッシュ』で甘い物をする人ならば、半季のたった数回のパンを待つのが一般的ですが、寒いこのように冷たい朝のパンは、温かいのが、程のようなくらいの温度で食べたい。温かいパンは、程のようなくらいの温度で食べたい。温かいパンは、程のようなくらいの温度で食べたい。

日々を心地よく丁寧に過ごすための  
ヒントがいっぱい！興味をそそがれた  
ページから読んでみてください。

フランスの小さくて  
温かな暮らし  
365日

トリコロール・パリ(著) 自由国民社(発行)

フランス人の暮らしを垣間見られる日めくりカレンダーのようなエッセイ

日々を心地よく丁寧に過ごすためのヒントが満載！

フランスの小さくて温かな暮らし365日  
1日1ページ、フランスの暮らしを垣間見られる日めくりカレンダーのようなエッセイ

トリコロール・パリ(著) 自由国民社(発行)

著者 トリコロール・パリ ●●●

フランス在住の日本人ふたり組（荻野雅代・桜井道子）が2010年に立ち上げたパリとフランスの人気情報サイト。著書『パリでしたい100のこと』（自由国民社）ほか。

貴店番線印	注文	POP (5冊以上) <input type="checkbox"/> A4パネル (計10冊以上) <input type="checkbox"/> ブラックボード (20冊以上) <input type="checkbox"/>
	ご担当者様名	フランスの小さくて温かな暮らし 365日 トリコロール・パリ著 B6変形版 368P オールカラー 本体1545円 9784426126889